

道徳科に求められる授業づくりに向けた 推進体制の整備

平成31年2月8日（金）
庄原市教育委員会 教育部 教育指導課 指導係
指導主事 赤木 一成

庄原市の子供たち



発表の流れ

- 1 はじめに
- 2 庄原市でめざす道徳教育
- 3 道徳教育推進教師の機能化について
- 4 成果と課題

1 はじめに

庄原市の概要について

○庄原市

広島県の北東部、中国地方のほぼ中央に位置し、東は岡山県、北は島根県・鳥取県に隣接する“県境のまち”

人口 35,575名

（平成30年11月30日現在）

面積 1,246.49km²



1 はじめに

庄原市の概要について

○庄原市の学校状況（平成30年5月1日現在）

児童数 1,549名 生徒数 826名

小学校19校(うち9校 複式学級を有する学校)

中学校7校



2 庄原市でめざす道徳教育

庄原市教育の基本理念

ふるさとの学びを原動力として高い志を持ち続け
活躍できる人材の育成

学校教育基本目標

ふるさとを愛する心を持ち、
主体的に学び続ける児童生徒の育成

「庄原で学んで良かったと思える教育の創造」

(1)学校・教員との出会い

(2)子供同士の良き人間関係

(3)学校・家庭・地域が一緒に行う教育活動

2 庄原市でめざす道徳教育

道徳教育の充実

○「特別の教科 道徳」の充実

- ・自己実現力と粘り強くやりぬく力を高める学習活動の推進
- ・「考え、議論する道徳」の着実な実践
- ・評価の在り方等に係る研修の計画的な実施

○ 他者への思いやりや人間関係を築く力の育成

- ・社会に貢献する責任感を育成する学習活動の推進
- ・発達段階に応じた意見交流の場の設定等、指導方法の工夫改善

○ 郷土愛を育む道徳教育の充実

- ・家庭・地域との連携を図り、郷土に誇りをもつ学習活動の充実

○ 豊かな人間性や社会性の育成に向けた体験活動の充実

- ・発達段階に応じた体験活動の推進と事前・事後指導の充実

3 道徳教育推進教師の機能化について

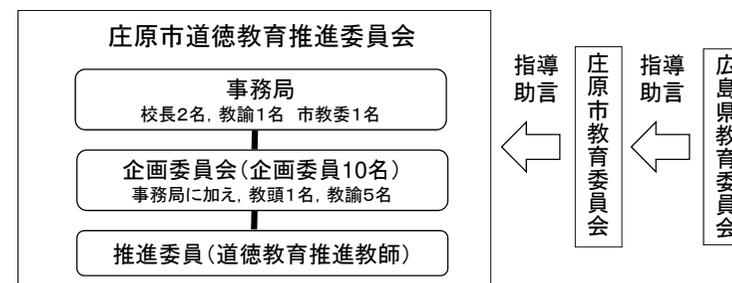
(1)道徳教育の推進体制

庄原市道徳教育推進委員会

【目的】

庄原市の小・中学校における「特別の教科 道徳」及び「道徳の時間」の指導方法の工夫改善や、各校の道徳教育の実践交流を通じて、道徳教育を充実させ、児童生徒の豊かな心を育む。

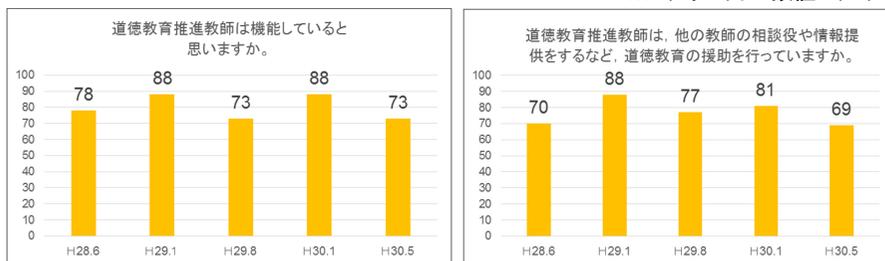
【組織】



3 道徳教育推進教師の機能化について

(2) 学校の実態と困難さの把握

※ グラフ内の数値 (%)



○道徳教育推進教師としての役割について、年度当初は、他の質問項目と比べ低い傾向がある

○研修等を重ねることで、肯定的な回答の割合が向上している

市町道徳教育推進協議会参加者アンケート(広島県教育委員会作成) より

3 道徳教育推進教師の機能化について

(2) 学校の実態と困難さの把握

○どんな校内研修を行っているか

- ・ 「考え、議論する道徳」をめざした研修(発問の工夫、多様な指導方法を取り入れた授業の在り方)
- ・ 全体計画、年間指導計画の作成に係る研修、評価に係る研修の実施(指導計画の見直し、内容項目の併記、他教科との関連)
- ・ 地域教材(自作教材)の見直し(新しい内容項目のいずれで扱うか検討)
- ・ 道徳参観日の実施に向けて、学習指導案検討を行う研修
- ・ 空き時間を活用して、道徳の授業をお互い参観し合う研修



平成29年度庄原市道徳教育推進教師におけるアンケート より

3 道徳教育推進教師の機能化について

(2) 学校の実態と困難さの把握

- ▲ 「特別の教科 道徳」に向けての理論研修ができていないため方向性が定まっていない。
- ▲ ねらいにせまる発問や教材・教具の工夫について研修を重ねる必要がある。
- ▲ 時間配分と授業構成をしっかり練る必要がある。
- ▲ 授業で考えたことが、児童の実際の生活に生かされてない。
- ▲ 評価に係る研修ができていない。
- ▲ 考え、議論する道徳の授業の在り方や評価の具現化について、更に研修を深める必要がある。
- ▲ 道徳の授業の相談をされても的確に答えることができていない。



平成29年度庄原市道徳教育推進教師におけるアンケート より

3 道徳教育推進教師の機能化について

(2) 学校の実態と困難さの把握



「特別の教科 道徳」になって、何が変わるのでしょうか。今までの道徳授業から何を換えればいいのですか？

「考え、議論する道徳」の授業をどのようにつくっていけばよいでしょうか。具体的な実践を知りたい。



「特別の教科 道徳」になって、評価が入ってきますが、どう評価していけばよいでしょうか。どう記述していけばよいかわっています。

わたしの学校は、複式学級がありますが、複式学級で「考え、議論する道徳」をどう展開すればよいでしょうか。なかなか多様な意見が出ないのですが…。



3 道徳教育推進教師の機能化について

(3) 学校の実態と困難さから見てきたこと

「考え、議論する道徳」の授業の具体をどのように伝えるか

道徳科の評価の在り方についてどのように伝えるか

道徳教育推進教師の資質向上と機能化をどのように図るか

学校による取組の差をどのようにしてうめるか

道徳教育推進教師を
いかに主役にするか

3 道徳教育推進教師の機能化について

(4) 道徳教育推進教師を主役にするために

効果的に研修をつなぐ

第1回企画委員会 年間計画の作成 第1回研修会企画

第1回推進委員会研修会

第2回企画委員会 第2回、第3回研修会企画

第2回推進委員会研修会

第3回推進委員会研修会

第3回企画委員会 第4回研修会企画

第4回推進委員会研修会

第4回企画委員会 1年間の成果と課題 次年度の計画

3 道徳教育推進教師の機能化について

(4) 道徳教育推進教師を主役にするために

最新の情報の伝達する

○サテライト研修講座の活用

県立教育センター 中野指導主事招聘(第1回研修会)

○広島県教育委員会 豊かな心育成課 大橋指導主事、渡辺指導主事招聘 (第2回、第3回、第4回研修会)

○大阪教育大学名誉教授 藤永 芳純教授の講演(第3回研修会)

- ・最新の情報を学ぶ(インプットする)ことで自信をもたせる
- ・道徳教育推進教師として旗振り役になるための知識の獲得



3 道徳教育推進教師の機能化について

(4) 道徳教育推進教師を主役にするために

トップイメージをもたせる

○本年度から道徳科の研究を始めた学校(板橋小)にて研修会の実施(第2回研修会)【提案授業、事後協議、指導助言】

- ・どこから、どのように取り組んだらよいか→取組の第一歩のヒントに
- ・校内研修のもち方(板橋小スタイルで実施)



3 道徳教育推進教師の機能化について

(4)道徳教育推進教師を主役にするために

トップイメージをもたせる

○「道徳教育改善・充実」総合対策指定校(西城小)の公開研究会に参加(第3回研修会) 【公開授業, 分科会, 指導助言, 講演】

- ・トップイメージの授業参観, めざす授業像の構築
- ・自校との比較 → 取り組むべきことの明確化

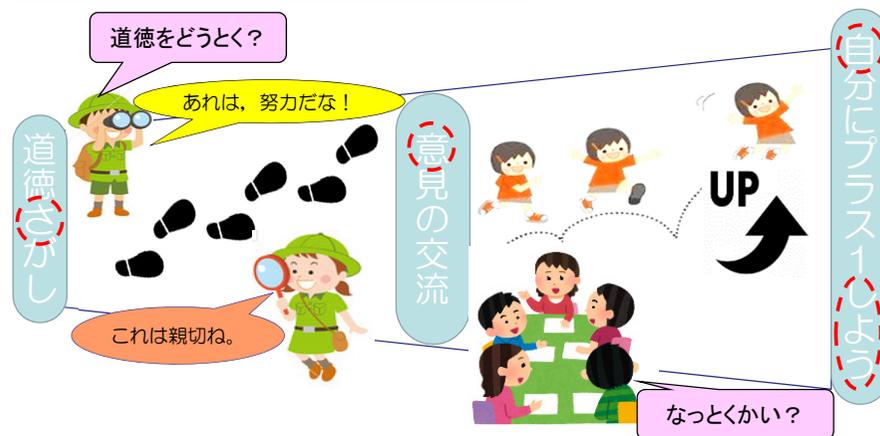


3 道徳教育推進教師の機能化について

(4)道徳教育推進教師を主役にするために

トップイメージをもたせる

ステップ『さいじょうしょう』



3 道徳教育推進教師の機能化について

(4)道徳教育推進教師を主役にするために

トップイメージをもたせる

3 道徳教育推進教師の機能化について

(4)道徳教育推進教師を主役にするために

受身の研修から能動的な研修を企画する

研修と研修を「つなぐ」

- 参加者主体の研修会の実施
 - ・授業参観後の事後協議の実施
 - ・演習を積極的に取り入れた研修の実施
- 学んだことを活かした実践の交流
 - ・各校の実践を交流(教科書の利点を活かして)→改善学習指導案の作成
- 振り返りの実施(事後課題の実施)
 - ・学んだこと, 自校に還元したいことをアウトプット(文字で刻む)

研修と学校を「つなぐ」

西城小学校公開研究会に参加して

所 属 西城市中島小学校 研修委員長 橋本 洋

1. 研究会に参加して、学んだことや所属校に還元したいと思ったことを記入してください。

西城小の公開授業を通して、道徳科の授業について学びました。特に「ステップアップ」の授業が印象的でした。先生の授業が丁寧で、子どもたちが積極的に参加していました。また、公開授業の準備や実施を通して、道徳科の授業の重要性を改めて実感しました。学んだこととして、公開授業の準備や実施の重要性を改めて実感しました。また、公開授業の準備や実施を通して、道徳科の授業の重要性を改めて実感しました。

2. 学んだことを活かして、所属校での実践や研修に活用したいことを記入してください。

西城小の公開授業を通して、道徳科の授業について学びました。特に「ステップアップ」の授業が印象的でした。先生の授業が丁寧で、子どもたちが積極的に参加していました。また、公開授業の準備や実施を通して、道徳科の授業の重要性を改めて実感しました。学んだこととして、公開授業の準備や実施の重要性を改めて実感しました。また、公開授業の準備や実施を通して、道徳科の授業の重要性を改めて実感しました。

3. その他、研修に関わって感じたことなどあれば、ご記入ください。

研修に参加して、西城小の公開授業を通して、道徳科の授業について学びました。特に「ステップアップ」の授業が印象的でした。先生の授業が丁寧で、子どもたちが積極的に参加していました。また、公開授業の準備や実施を通して、道徳科の授業の重要性を改めて実感しました。学んだこととして、公開授業の準備や実施の重要性を改めて実感しました。また、公開授業の準備や実施を通して、道徳科の授業の重要性を改めて実感しました。

提出時期 平成29年11月26日(水)

3 道徳教育推進教師の機能化について

(4)道徳教育推進教師を主役にするために

困難さの解決に向けて対応する



「考え、議論する道徳」の授業をどのようにつくってあげばよいでしょうか。具体的な実践を知りたい。

- 年4回の研修会のうち2回を学校を会場に開催
 - ・生の授業を参観する
 - ・提案授業 + 学校の取組の紹介
 - ・掲示物等の工夫を学ぶ
- 道徳教育実践ファイルに指定校及び各校の取組を集積
 - ・授業づくりで困った際に、手に取れる実践集を作成する

3 道徳教育推進教師の機能化について

(4)道徳教育推進教師を主役にするために

困難さの解決に向けて対応する



「特別の教科 道徳」になって、評価が入ってきますがどう評価していけばよいでしょうか。どう記述していけばよいか困っています。

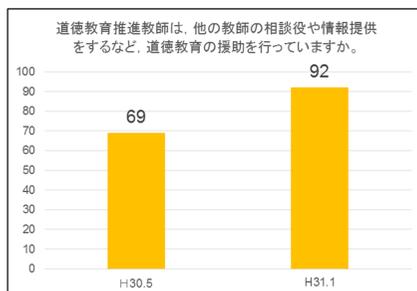
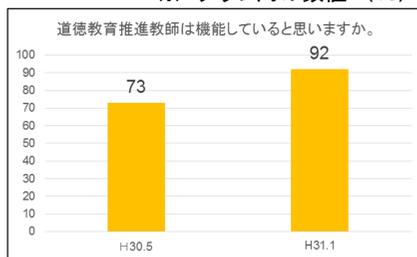
- 評価の具体についての講話・演習(第1回研修会)
- 庄原市道徳教育推進委員会にて道徳科における評価の基本的な考え方を作成 → 各小学校へ周知
- 庄原市小学校教育研究会道徳部会との連携
- 各小学校の通知表の評価文例の把握
 - 市教育委員会及び庄原市道徳教育推進委員会にて把握・分析
 - 状況と改善点を研修会にて周知(第2回研修会)
 - 道徳科の評価事例集(庄原版)の作成(予定)

4 成果と課題

(1)成果

- ・道徳教育推進教師の機能化
- ・企画委員会の機能化
- ・道徳科の評価の在り方や各校の評価文例の還元

※ グラフ内の数値 (%)



4 成果と課題

(2)課題

- ・道徳教育推進教師が、自校に還元しやすい資料等の配付
- ・複式学級における「考え、議論する道徳」授業の在り方
- ・中学校における道徳科の円滑な実施